

# Topics

この1年を振り返って

▶ 2004年度の各事業の活動、業績などについて

CSR活動報告

▶ 社会のために、Yahoo! JAPANができること

「Yahoo!モバイル」サービスの拡充

▶ 利用者にとって真に価値あるサービスの開発を目指して

ヤフー株式会社  
株主通信

'04 4/1 ~ '05 3/31

VOL.  
10

# CONTENTS

株主通信 VOL.10

2004年 4/1~2005年 3/31

目次

株主の皆様へ【社長対談 ◎インタビュー / 宮崎緑】	2
CSR(企業の社会的責任)活動報告	10
事業部別概況	12
連結貸借対照表	16
連結損益計算書	18
事業部別損益	20
連結キャッシュ・フロー計算書	21
社員インタビュー	22
使ってみよう	24
Q&A	25
株式情報	26
会社沿革・会社概要	28
株主メモ	29

# YAHOO!

【名:ヤフー】米国スタンフォード大学の学生だったジェリー・ヤン (Jerry Yang) とデビッド・ファイロ (David Filo) が始めたインターネットサービス。利用者からの大きな支持を得て1995年に法人化。現在は、検索サービスにとどまらずインターネット上であらゆるサービスを提供しており、インターネットの利用者にとってはなくてはならない存在に。Yahoo!という名前は、“Yet Another Hierarchical Officious Oracle” (もう一つの階層的で非公式な神託) の略だといわれていますが、ジェリーとデビッドの二人は自らを「ならず者 (yahoo) と称し、この名前を選んだと主張しています。

【語源】Yahooの語源は、スウィフトの「ガリバー旅行記」に登場する野蛮人の名前から。Yahooは、理性を持った馬に飼われる、人の形をした「野蛮の象徴」として風刺的に描かれています。



# 株主の皆様へ

## はじめに

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。  
当社に対するご理解をより深めていただくために、今回は千葉商科大学政策情報学部助教授であり、ジャーナリストとしてもテレビ、新聞、雑誌などで幅広く活躍されている宮崎緑さんを迎えて、当社社長井上雅博との対談の機会を持ちました。ヤフーの現状や今後の事業展開などについて、ご理解を深めていただく一助となりましたら幸いです。

ヤフー株式会社代表取締役社長

井上雅博

社長  
対談

千葉商科大学助教授・ジャーナリスト

宮崎緑



## 1日当たりのアクセス数が10億ページビューを突破!

**宮崎:** 昨年10月に、Yahoo! JAPANの1日当たりのアクセス数が10億ページビューを突破したとのことですが、現在の日本におけるインターネットの普及状況、利用状況について、どのようにお考えですか？

**井上:** 10億ページビュー突破の背景にあるのは、単に利用者数の増加だけではなく、ブロードバンド化がもたらした1人当たりの利用時間の増加が大きいと考えています。つまり2001年、「Yahoo! BB」の開始によって加速したブロードバンドの普及が、家庭での「インターネット常時接続」を可能にし、このことがインターネットの利用者層をさらに広げ、同時に1人ひとりの利用時間の増加を促したのです。これからのインターネット市場の成長は、利用者数の伸びだけではなく、1人ひとりの利用者にもっと気軽にもっと頻りにインターネットを使っていただくことによって、さらに加速するのだと考えます。インターネットは今後さらに生活のより多くのシーンに浸透し、まさに生活必需品のひとつになっていくものと思われます。近い将来、インターネット上で行われる消費が国内全消費の10%とか20%とかに拡大していくのではないのでしょうか。

**宮崎:** Yahoo! JAPANは、実にさまざまなサービスを提供していますが、他社との差別化のポイント、ヤフーとしての強みとはどのようなものですか？

**井上:** 他社との基本的な違いは何かといえば、それは創業以来、ヤフーが一貫して利用者本位に考えて事業展開していることではないかと思います。実際、各種サービスの開始にあたっては、私自身が1人の利用者として、こんなことができたなら便利だと思うことから順に始めてきました。それが競合他社に比べて、ヤフーのサービスの幅を広くする結果につながっているのだと思います。便利で役に立つさまざまなサービスを開発・提供し、ヤフーのサービスだけでお客様に満足いただけるようにとの思いで、全社員が日々の業務に取り組んでいます。

## 2004年、インターネット広告費がついにラジオ広告費を超える!

**宮崎:** 昨年のインターネットの広告費が、既存メディアの一角であるラジオの広告費をついに超えたことが話題になりましたが、インターネット広告は今後もさらに伸びていくとお考えですか？

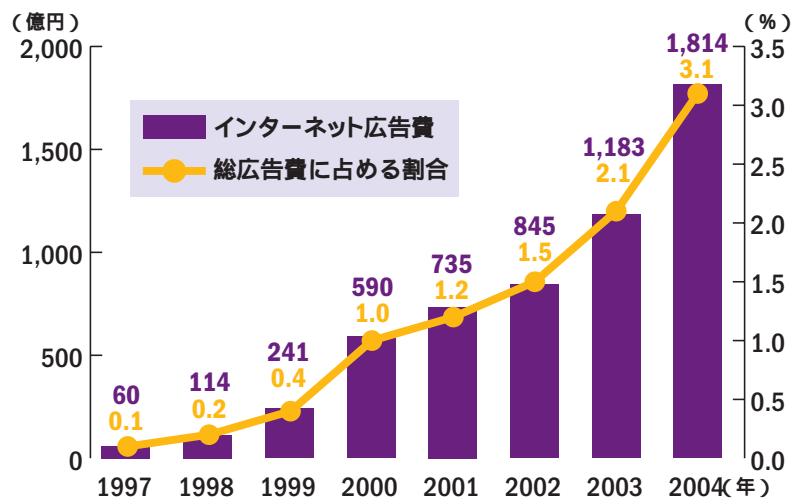
**井上:** 株式会社電通の調査によると、2004年のインターネ

ット広告費は約1,800億円と前年比で約1.5倍となり、初めてラジオ広告費を上回ったようですが、国内の広告市場全体から見ればまだ3%程度に過ぎません。既存のマス広告媒体の年間広告費は、約1億人が視聴するテレビは約2兆円、約5,000万部発行されている新聞は約1兆円ですから、インターネット利用者がすでに5,000万人を超えていることを考えると、インターネット広告費の成長余地はまだ十分に残されているといえます。

**宮崎:** ヤフーでは、従来のバナー広告などに加えて、検索結果



### 日本インターネット広告費と総広告費に占める割合



(株)電通「2004年(平成16年)日本の広告費」より

ページなどに表示される「スポンサーサイト」という広告にも力を入れているようですが、これはどのような広告手法なのでしょうか。また、広告売上全体に与える影響はいかがですか？

**井上:** これは、例えば「自動車保険」というキーワードで検索したり、「自動車保険」に関連するコンテンツページを閲覧した際に、検索結果やヤフーのサービス情報に加えて、「自動車保険」に関連するテキスト(文字)広告が同時に表示されるものです。つまり、利用者の関心に合わせて関連する広告を表示する仕組みなので、より効果的、効率的なプロモーション

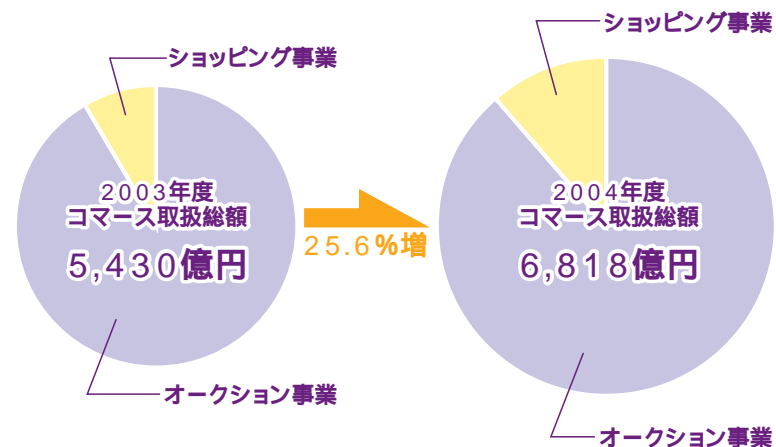
が期待できるというわけです。ヤフーでは、マス広告的な性格を持つバナー広告に対して、スポンサーサイトは大規模企業だけではなく、もっと小さな事業者、例えば地方のスーパーや小売店なども手軽に利用できる広告として位置付けており、広告主の裾野を広げる意味でも大きな期待が持てる所です。

2004年度のコマース取扱総額が  
6,800億円に

**宮崎**：業界No.1の「Yahoo!オークション」も引き続き好調のようですね。

**井上**：「Yahoo!オークション」をはじめ「Yahoo!ショッピング」などを含めたコマース取扱総額は、2004年度の合計で6,800億円を超えました。サービス開始から5年半で確かに大きく成長したと思いますが、今後も成長の余地はまだまだ十分にあると考えています。「Yahoo!オークション」の利用者数は500万人を突破しましたが、インターネット利用者全体に比べるとまだその1割程度なので、この比率を上げるためには今後どうすればよいかを常に考えています。より多くの方に興味を持っていただき、そしてもっと安心して利用していただくためには、オークションでの詐欺や違法出品な

## ▶ Yahoo! JAPAN コマース取扱総額



どの問題を解決することも重要であり、最重要課題のひとつとしてオークションにおける安全性の確立に向けた取り組みを行っています。

**宮崎：**私も「Yahoo!オークション」をよく利用しますが、確かにシステムとしての安全性が今後さらに高まれば、より安心して使うことができ嬉しいですね。加えて今後は、情報に対する倫理観や取り扱い方のルールなど、利用者側の教育も重要な観点であると思われませんが。

**井上：**おっしゃるとおりだと思います。個人情報のセキュリティの整備・強化についても、ヤフーではいち早く積極的に取り組んでいますが、利用者の中には依然として、IDと同じパスワードを設定されている方が少なくないのが現状です。安全に対する意識を高めていただくためにより一層の広報・啓発活動が今後とも必要であると感じています。インターネットサービスのトップ企業としての責任を果たすため、引き続きこうした面でも積極的にリーダーシップを発揮していきたいですね。

**宮崎：**日本のeコマース市場の今後の見通しとヤフーの戦略について教えてください。

**井上：**日本国内全家計の支出から、実体のない「帰属家賃」を除いた総額に対し、2004年のeコマース市場は、その約2%に当たる6兆円前後と推察されますが、これからさらに拡大



するのは間違いありません。ヤフーでは現在、「オークション」と「ショッピング」という2つのコマースサービスを提供していますが、今後もサービスの一層の機能向上を図り、お客様のさらに多様化するニーズに応えるべく、いろいろな探し方や買い方ができる場を提供していきたいと考えています。

## より広く深いサービスの提供に向けて

**宮崎：**新サービスへの取り組みも活発なようですね。中でも、





株式会社リクルートとの提携で昨年スタートした求人情報サイト「Yahoo!リクナビ」が好調ですが、リクルートとの提携の狙いはどこにあったのですか？

**井上：**求人情報の分野をはじめ、今後はすべての分野の市場がインターネットに向かっていくものと考えています。その中で、それぞれの分野で力を発揮する強いプレイヤーと手を組むことで、ヤフーはさらに新たな市場を開拓することができると同時に、お客様にとってもより便利なサービスを提供できます。こうした考えからスタートしたものの1つが「Yahoo!リクナビ」です。スタートして1年が経ちますが、

業績は順調に推移しています。今後も、さまざまな分野で強みを持つ企業との提携などを通じて、お客様のあらゆるニーズへの対応を図っていきたいと思います。

**宮崎：**あおぞら銀行との業務提携やカード事業への参入、保険サービスの本格化など、金融保険事業への取り組みが拡大していますが、この狙いはどこにあるのですか？

**井上：**あおぞら銀行との業務提携やカード事業への参入は、eコマースのサービス充実の一環にほかなりません。つまり、ネット決済の利便性を高めたいという狙いです。また、保険サービスについては、保険に関する総合的なサイトをスタートさせましたが、これもお客様のあらゆるニーズに応えたいという狙いから始めました。

**宮崎：**新たに力を入れている分野としては他にどのようなものがありますか？

**井上：**地域系の情報提供サービスやモバイルサービスなどです。ひと言でいえば、お客様1人ひとりの生活に密着した本場に役立つ情報を提供するとともに、いつでもどこでも自由にその情報を入手でき、利用できるようにするということを目指しています。インターネットサービスにおいては、オンラインのバーチャルな世界と、私たちの生活の場であるリアルな世界とを、どうやって結び付けるかが最も重要だと考えています。

## 2004年度の業績について

**宮崎：**この1年間の業績はいかがでしたか。また、どのように評価されていますか？

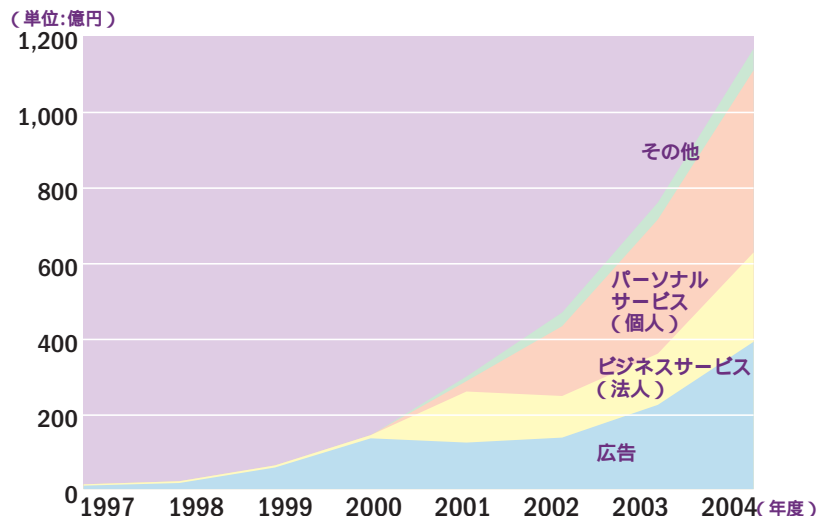
**井上：**おかげさまで売上、利益ともに大きく伸び、過去最高となりました。2004年度の通期の連結ベースでの売上高は1,177億円と前年比55%増、営業利益は601億円と前年比46%増、経常利益は602億円と前年比46%増、当期純利益は365億円と前年比47%増となりました。売上高が今回初めて1,000億円を超えましたので、今度は早く利益が1,000億円を超えるよう頑張りたいですね。売上高を、個人向けビジネスによる売上と法人向けビジネスによる売上と

### 宮崎 緑 (みやざき みどり)

慶応義塾大学大学院修了。  
女性ニュースキャスターの草分け的存在。  
テレビ、新聞、雑誌等でジャーナリストとして活躍する一方、国政政治学者としてアカデミズムの世界でも地歩を固め、2000年から千葉商科大学政策情報学部助教授。中央教育審議会臨時委員をはじめ多くの公的職務を歴任。著書に『女の耳目』等多数ある。



### ▶ 収益源別売上構造



に分けて考えると、個人と法人がほぼ半分ずつです。法人向けビジネスのうち約6割が広告売上になりますので、全体としてはバランスよく伸びたと思います。今後もそれぞれを着実に伸ばしていきたいと思います。

**宮崎：**福岡ドームの命名権を取得して「ヤフードーム」となりましたね。

**井上：**はい、実際に試合も観に行きましたし、ネット中継も楽しいですね。ソフトバンクホークスの人気の高まりで、相乗効果を期待したいです。

## すべてのサービスでのNo.1を目指して

**宮崎**：最後に、これからのヤフーの課題や目標などをお聞かせください。

**井上**：不変の目標は、「インターネットで1番使いやすく便利なサイト」です。ヤフーのサービスだけを使っていたきたいですが、押しつけではなくお客様に選んでいただく、そのために今後も一貫して、顧客満足度を高めるべくサービスの量を増やし、質を高めていく努力を継続していきます。



ヤフーでは現在約80種類のサービスを提供していますが、そのうち約10種類がまだNo.1ではないので、これらの強化を図り、すべてのサービスでNo.1を目指したいですね。そして、お客様が何をやるにもいつもYahoo! JAPANを使っただけの「ライフ・エンジン」として生活に欠かせないブランドでありたいと思います。



### 井上 雅博(いのうえ まさひろ)

1957年 2月12日生まれ  
 1979年 3月 東京理科大学理学部数学科卒業  
 1979年 4月 (株)ソード電算機システム入社  
 1987年 11月 (株)ソフトバンク総合研究所入社  
 1992年 6月 ソフトバンク(株)入社  
 1994年 1月 同社社長室・秘書室長  
 1996年 1月 ヤフー(株) 設立、取締役就任  
 1996年 7月 ヤフー(株) 代表取締役社長就任



# CSR(企業の社会的責任)活動報告

当グループは社会の一員として企業が果たすべき役割の重要性を強く認識し、株主の皆様、お客様、従業員、そして社会に対する中長期的な企業価値の増大を図るため、積極的に取り組んでまいります。

このたび当グループでは、「社会への関わり」、「インターネット社会への関わり」、「企業としてのあり方」の3つの観点から、当グループの取り組みをご報告する「Yahoo! JAPAN サステナビリティレポート 2005」を作成しました。その内容の一部をご紹介します。

## 1. インターネット企業としての社会貢献

### Q Yahoo! JAPANのサービスは社会に対してどんな価値を生み出しているの？

A Yahoo! JAPANが社会に生み出している最大の価値は、お客様の生活を豊かにする「ライフエンジン」としてインターネットに新しい価値を付加していくことだと考えています。サービスの提供を通じてインターネットを健全に発展させることが、最大の社会貢献だと考えています。

### Q チャリティーオークションの目的と仕組みは？

A 落札金額が寄付されるオークションを開催することでチャリティー団体の支援活動・福祉活動を応援しています。2004年も多数のオークションを開催し、その全てがチャリティー団体に寄付され、国内はもとより世界中の様々な支援活動・福祉活動に生かされています。



### Q ボランティア活動への貢献はしていますか？

A 「大勢の人が集まる」というYahoo! JAPANの強みを生かし、ボランティア団体と参加したい人の双方をつなぐ場として「Yahoo!ボランティア」を2003年4月より運営し、各種ボランティア団体の活動を支援しています。

### Q 地震や台風などの災害にインターネットが役に立てることは？

A Yahoo! JAPANでは災害時に緊急ページを設け、安否情報や災害時に必要な情報の提供に努めるほか、2004年12月からは、災害が発生した際に全てのページで情報をお知らせする「災害情報表示機能」を運用しています。

## 2. インターネット社会の安全と健全な発展のために

### Q 子どもが安心して見られるインターネットはあるの？

A Yahoo! JAPANでは有害な情報を排除した「Yahoo!きっず」を提供しているほか、保護者などが一定の基準を設定し、見せたくないページをブロックする「ペアレンタルコントロール」サービスの導入を予定するなど、子ども達の正しいインターネットの利用促進に力を注いでいきます。

### Q オークションでの詐欺や違法な出品に対する対策は？

A オークションの利用者全員に対するクレジットカードおよび銀行口座による本人確認のほか、出品者には配達記録郵便を送付することによる住所確認を行うなど、お客様が安心して利用できるサービスとなるよう様々な対策を実施しています。また随時、関係機関との連携、情報交換を行い、24時間パトロール等により違法な出品の取り締まりや悪用した人物の特定に協力しています。

### Q 個人情報の管理などYahoo! JAPAN自身のセキュリティは大丈夫なの？

A サービスの提供に必要な情報以外はお客様から取得しない、取得した個人情報は物理的に隔離する、個人情報のデータベースへのアクセス権限付与は最小限に絞り込む、個人情報へのアクセス権限を保有するスタッフの業務はセキュリティエリアに分離・限定するなど、情報管理を徹底的に強化しています。さらに「情報管理対策本部」を設置し常に情報管理体制を見直すほか、第三者機関からの定期的な審査を受けています。

## 3. インターネット業界のキープレーヤーとして

### Q 社会のルールや法律を守って企業活動を行っていますか？

A 法令遵守は事業活動において最も重要なことのひとつであると考えています。企業活動の監視や社員教育、行政機関との連携などを通じて、公正な企業活動を行うことを徹底しています。

### Q 会社情報について適切に情報公開が行われていますか？

A 株主ならびに投資家の皆様、サービスをご利用になるお客様、取引先企業、従業員などのステークホルダーに対して、証券取引法など法令に則した開示はもとより、その他の企業情報についても、積極的に、四半期ごとの決算発表、月次情報の開示などを通じて適切に公開し、ホームページ上でいつでもご覧いただけるように努めています。



このレポートのより詳しい内容については、こちらをご覧ください。……………▶ <http://docs.yahoo.co.jp/info/csr/>

# 事業部別概況

当グループは、2002年1月より事業部制を導入しています。また、各事業部には帰属しない全社共通の売上を「全社共通事業」としています。

当期における6事業部および「全社共通事業」の概況は以下のとおりです。事業部別の売上は、下記のとおり4種類に分かれています。

広告	バナー広告、メール広告等による売上、またはそれに付随する売上 有料リスティングサービス(スポンサーサイト)による売上
ビジネスサービス	広告以外の法人向けビジネスによる売上
パーソナルサービス	個人向けビジネスによる売上
その他	セブンアンドワイ(株)による物販売上

## 事業部別売上高(2004.4.1 ~ 2005.3.31)

(単位:百万円)

	リスティング 事業部	オークション 事業部	Yahoo! BB 事業部	メディア 事業部	ショッピング 事業部	ビジネス ソリューション 事業部	全社共通事業 ・本社	合計
広告	20,092	1,162	1,515	9,254	976	146	5,793	38,941
ビジネスサービス	9,031	3,089	5,903	547	2,551	2,220	273	23,618
パーソナルサービス	235	23,086	9,379	937	—	14	14,500	48,153
その他	—	—	—	—	7,065	—	—	7,065
合計	29,359	27,338	16,799	10,740	10,593	2,381	20,567	117,779

# 事業部別概況

## リスティング事業部

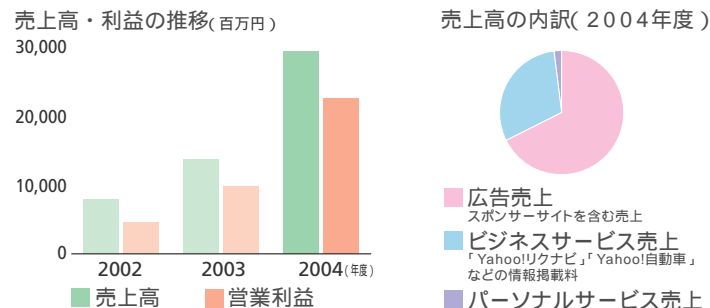
検索サービスおよび情報掲載サービスならびに地域情報サービスを提供しており、情報提供元から得る情報掲載料および有料リスティングサービスであるスポンサーサイトによる収益の拡大を図っています。

### 主なサービス

「Yahoo!リクナビ」「Yahoo!自動車」「Yahoo!電話帳」

### 当期の状況

- (株)リクルートが運営する求人サイトをYahoo! JAPANの求人情報サイトに展開する「Yahoo!リクナビ」を公開しました。
- 「Yahoo!クーポン」「Yahoo!翻訳」などの新サービスを公開しました。



## オークション事業部

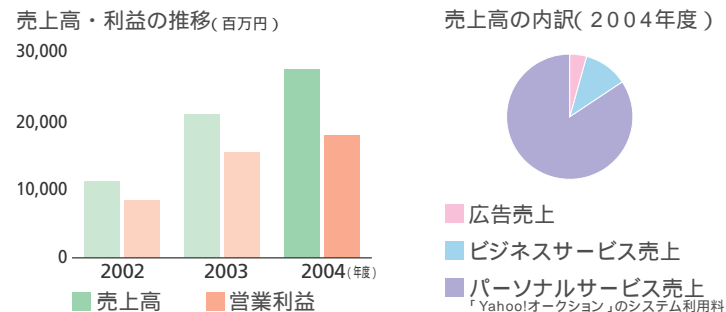
「Yahoo!オークション」において個人間の商品の売買および法人による商品の競売等の場を提供し、また、法人向けにオークションストア(法人店舗)のサポートを行っています。

### 主なサービス

「Yahoo!オークション」「Yahoo!宅配」「Yahoo!かんたん決済」

### 当期の状況

- 郵便物による出品者の住所確認や違法出品対策など、より安心して利用できるオークションサイトを運営していくための対策を継続的に行いました。
- 東京都主税局と共同で、全国で初めてインターネットによる公売を開始しました。
- 2004年度の取扱高は6,000億円を超えました。



2003年度より売上等の計上方法を変更しており、2002年度の数字は2003年度より導入された計上方法に従って遡及修正して表示しています。

# 事業部別概況

## Yahoo! BB事業部

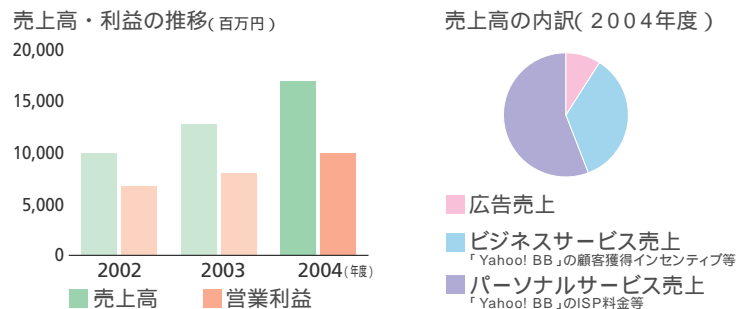
ブロードバンド関連の総合サービス「Yahoo! BB」において、主にWeb上での会員獲得およびISPサービスの一部であるメール、ホームページ作成などの提供を行っています。

### 主なサービス

「Yahoo! BB」「Yahoo!メール」「Yahoo!ジオシティーズ」

### 当期の状況

- 「Yahoo! BB」新規会員獲得のため、新サービス「Yahoo! BB 光」の提供を開始し、また、各種キャンペーンを実施しました。
- 人気アーティストのチケット先行販売など、「Yahoo! BB」会員限定のサービスをより充実させました。



## メディア事業部

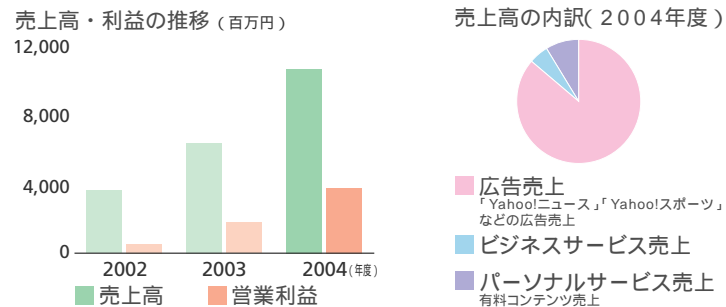
利用者が欲する多様なコンテンツやサービスを提供することによりページビューを増やし、広告売上を拡大することを目指しています。また同時に、コンテンツやサービスを有料で提供することを推進しています。

### 主なサービス

「Yahoo!ファイナンス」「Yahoo!動画」「Yahoo!アバター」

### 当期の状況

- アテネオリンピック、アテネパラリンピック、2005年スペシャルオリンピックス冬季大会で、特設サイトを公開しました。
- 「Yahoo!動画」の韓流ドラマ特集など、魅力ある有料・無料のコンテンツを提供しました。



2003年度より売上等の計上方法を変更しており、2002年度の数字は2003年度より導入された計上方法に従って遡及修正して表示しています。



# 事業部別概況

## ショッピング事業部

信頼と実績の有名店から個性豊かな専門店まで、品揃えを充実させたオンラインショッピングサイトを提供しています。また、国内外の宿泊、航空券等旅行にかかわる商品や旅行の準備をサポートする情報などの提供を行っています。

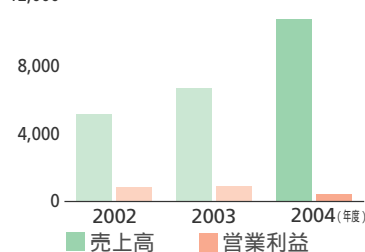
### 主なサービス

「Yahoo!ショッピング」「Yahoo!トラベル」「Yahoo!チケット」

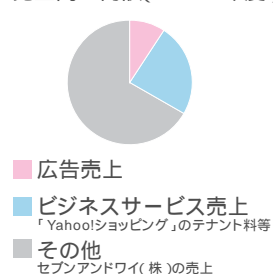
### 当期の状況

- 「Yahoo!ショッピング」のストア数は1年間で倍増しました。
- 「Yahoo!ポイント」を利用したキャンペーンを行いました。
- セブンアンドワイ(株)では、書籍に加えCD、DVDの取扱いを開始しました。

売上高・利益の推移(百万円)



売上高の内訳(2004年度)



2003年度より売上等の計上方法を変更しており、2002年度の数字は2003年度より導入された計上方法に従って遡及修正して表示しています。

## ビジネスソリューション(BS)事業部

ヤフーが培ってきたノウハウや技術を、個人事業主を含む企業や地方公共団体に対してソリューションとして提供しています。

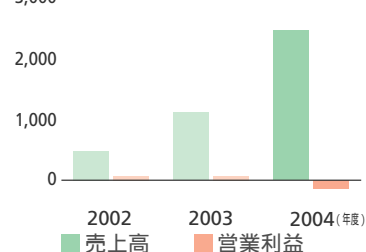
### 主なサービス

「Yahoo!リサーチ」「Yahoo!ウェブホスティング」「Yahoo!ドメイン」

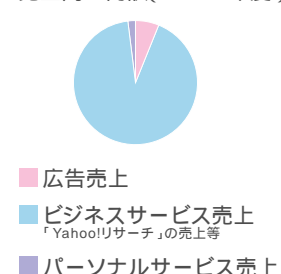
### 当期の状況

- 「Yahoo!リサーチコンパクト」「Yahoo!リサーチセルフ」等の受注活動を積極的に行いました。登録モニター数は2005年3月末では42万人になりました。
- 「Yahoo!ポータルソリューション」による(財)日本サッカー協会などのホームページが公開されました。

売上高・利益の推移(百万円)



売上高の内訳(2004年度)



# 連結貸借対照表

**ポイント1** POINT 1  
 現預金の増加は、営業活動による収入の増加によるものです。

**ポイント2** POINT 2  
 貸倒引当金の増加は、売上債権の増加および繰入率の高い長期の個人向け債権の増加によるものです。

**ポイント3** POINT 3  
 有形固定資産の増加は、主にサーバー等の設備の増加によるものです。

**ポイント4** POINT 4  
 投資その他の資産の増加は、主に関連会社株式の取得によるものです。

資産の部		
主な科目	前期 [2004年3月31日現在]	当期 [2005年3月31日現在]
<b>流動資産</b>	<b>55,726</b>	<b>92,410</b>
現預金	39,643	68,992
売掛金	12,847	18,293
貸倒引当金	733	1,364
<b>固定資産</b>	<b>26,683</b>	<b>37,833</b>
有形固定資産	8,075	11,875
無形固定資産	1,646	5,563
投資その他の資産	16,962	20,393
<b>資産合計</b>	<b>82,410</b>	<b>130,244</b>

2005年4月20日におこなった決算説明会の模様を下記URLにてオンデマンドでご覧になることができます。  
<http://ir.yahoo.co.jp/event/meeting/20050420.html>

(単位:百万円)

負債の部		
主な科目	前期 [2004年3月31日現在]	当期 [2005年3月31日現在]
流動負債	19,563	31,564
買掛金	636	1,228
未払金	4,181	7,618
未払法人税等	11,688	16,676
固定負債	2,772	2,158
負債合計	22,335	33,723
少数株主持分		
少数株主持分	267	461
資本の部		
資本金	6,399	6,692
資本剰余金	1,480	1,773
利益剰余金	47,066	83,461
その他有価証券 評価差額金	4,880	4,161
自己株式	21	27
資本合計	59,806	96,059
負債・少数株主持分 及び資本合計	82,410	130,244

## ポイント5

POINT

未払金の増加は、主に営業費用の増加およびソフトウェアの購入によるものです。

## ポイント6

POINT

資本金の増加は、ストックオプションの行使によるものです。

## ポイント7

POINT

利益剰余金の増加は、利益の増加によるものです。

## ポイント8

POINT

その他有価証券評価差額金の減少は、主に投資有価証券の時価評価によるものです。

# 連結損益計算書

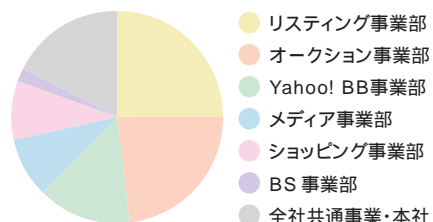
## ポイント1

## POINT 1

当期の連結ベースの売上高の内訳は以下の通りです。

売上高の内訳	金額(百万円)	全売上高に占める割合
リスティング事業部	29,359	24.9%
オークション事業部	27,338	23.2%
Yahoo! BB事業部	16,799	14.3%
メディア事業部	10,740	9.1%
ショッピング事業部	10,593	9.0%
BS事業部	2,381	2.0%
全社共通事業・本社	20,567	17.5%
合計	117,779	100.0%

売上高構成比率



(注) 全社共通事業の売上とは、「Yahoo! JAPAN トップページ」等への広告掲載売上や、「Yahoo!プレミアム」の売上など、各事業部に帰属しない売上のことです。

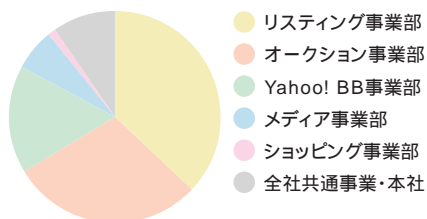
## ポイント2

## POINT 2

当期の連結ベースの営業利益の内訳は以下の通りです。

営業利益の内訳	金額(百万円)	全営業利益に占める割合
リスティング事業部	22,449	37.3%
オークション事業部	17,792	29.6%
Yahoo! BB事業部	10,009	16.6%
メディア事業部	3,864	6.4%
ショッピング事業部	395	0.7%
BS事業部	155	0.3%
全社共通事業・本社	5,830	9.7%
合計	60,187	100.0%

営業利益構成比率



## 科目

### 売上高

売上原価

販売費及び一般管理費

### 営業利益

営業外損益

### 経常利益

特別損益

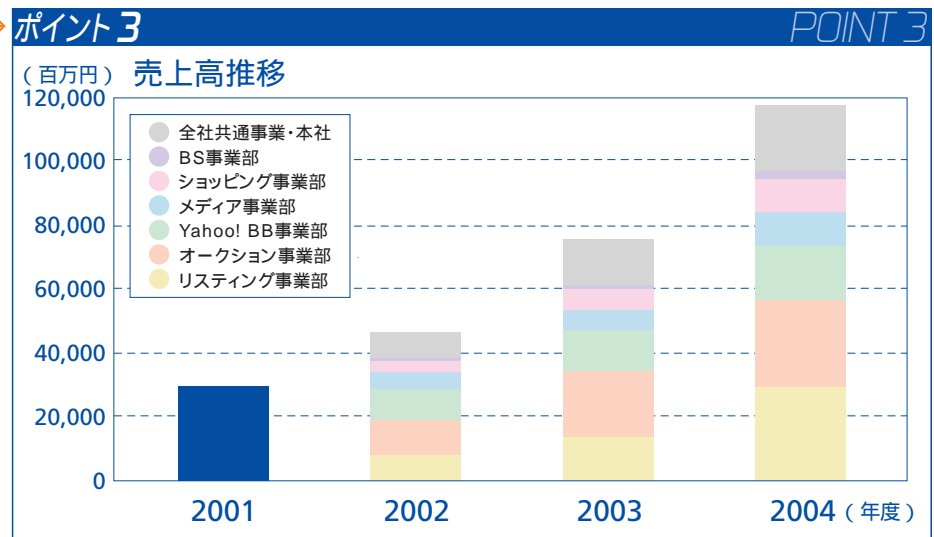
法人税等・その他

### 当期純利益

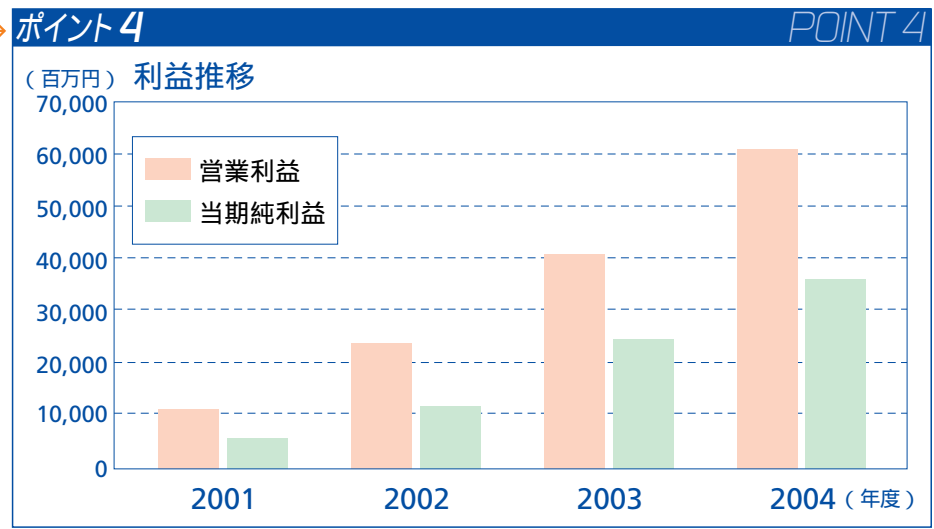
(単位:百万円)

前期 [2003年4月1日~ 2004年3月31日]	当期 [2004年4月1日~ 2005年3月31日]
75,776	117,779
5,292	8,931
29,272	48,660
41,211	60,187
97	108
41,308	60,295
259	435
16,222	24,209
24,826	36,521

(注) 2003年度より売上等の計上方法を変更しています。2002年度以前の数字は、2003年度より導入された計上方法に従って遡及修正して表示していますのでご注意ください。



(注) 2002年度から事業部別の開示を行っています。



# 事業部別損益

当期( 2004年4月1日～2005年3月31日 )

( 単位:百万円 )

	売上高	売上原価	売上総利益	販売費及び 一般管理費	営業利益	売上高 営業利益率
リスティング事業部	29,359	277	29,081	6,631	22,449	(76.5%)
オークション事業部	27,338	27	27,310	9,518	17,792	(65.1%)
Yahoo! BB事業部	16,799	899	15,899	5,890	10,009	(59.6%)
メディア事業部	10,740	336	10,403	6,539	3,864	(36.0%)
ショッピング事業部	10,593	5,617	4,975	4,580	395	(3.7%)
ビジネスソリューション( BS )事業部	2,381	1,457	923	1,078	155	( 6.5%)
全社共通事業・本社	20,567	314	20,252	14,421	5,830	(28.4%)
<b>合計</b>	<b>117,779</b>	<b>8,931</b>	<b>108,847</b>	<b>48,660</b>	<b>60,187</b>	<b>(51.1%)</b>

## 各事業部の主な売上

リスティング事業部	広告売上、「ビジネスエクスプレス」、「Yahoo!リクナビ」、「Yahoo!自動車」等の情報掲載料
オークション事業部	「Yahoo!オークション」のシステム利用料、ストアの登録料・基本手数料・手数料
Yahoo! BB事業部	「Yahoo! BB」の顧客獲得インセンティブ、ISP料金
メディア事業部	広告売上、有料コンテンツ売上
ショッピング事業部	「Yahoo!ショッピング」のテナント料・手数料、セブンアンドワイ(株)による物販売上
ビジネスソリューション( BS )事業部	「Yahoo!リサーチ」、「Yahoo!ウェブホスティング」等による売上
全社共通事業・本社	「Yahoo! JAPAN トップページ」等への広告掲載売上、「Yahoo!プレミアム」の売上

# 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	[2003年4月1日~ 2004年3月31日]	[2004年4月1日~ 2005年3月31日]
営業活動によるキャッシュ・フロー	26,147	46,083
投資活動によるキャッシュ・フロー	10,913	17,119
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,194	384
現金及び現金同等物の増加額	16,427	29,348

**ポイント1** POINT 1

税金等調整前当期純利益が60,730百万円。  
法人税等の支払により20,089百万円減。  
売掛金の増加により5,034百万円減。

**ポイント2** POINT 2

サーバー等の購入により9,928百万円減。  
関連会社株式の取得により5,815百万円減。

# 社員インタビュー

## 真の“ユビキタス”実現に向けて 日々拡充する「Yahoo!モバイル」

いつでもどこでもYahoo! JAPANのサービスを利用したい。そんな願いを叶える携帯電話対応サービス「Yahoo!モバイル」。今回は、各種サービスの開発に取り組むモバイルチームのメンバーに話を聞きました。



### 利用者のニーズに応える「Yahoo!モバイル」。

「Yahoo!モバイル」は、インターネットに接続可能な携帯電話から利用できるモバイル対応サービスで、現在「iモード」「EZweb」「ボーダフォンライブ!」に対応し、「Yahoo!オークション」「Yahoo!トラベル」「Yahoo!地域情報」など計40のサービス(2005年4月末現在)を提供しています。つまり、普段パソコン(PC)で利用しているYahoo! JAPANのいろいろなサービスを、携帯電話からいつでもどこでも自由に利用できるということです。

当社では、インターネットに接続可能な携帯電話が全体の8割以上を占めるという実態を踏まえるとともに、半期ごとに実施している利用者の意識調査やモニタリング調査を通じて、「携帯電話からヤフーの各種サービスが利用できるようになれば、もっと便利」という利用者のニーズをいち早くキ

ャッチ、それに応えるべく、2000年3月に「モバイルチーム」を結成し、2000年6月からサービスの提供を開始しました。以来、PC版サービスからの転用はもとより、モバイル版ならではのオリジナルサービスの開発・提供にチーム一丸となって全力で取り組んでいます。

### 開発のポイントは、PC版との親和性、連動性。

「Yahoo!モバイル」の開発において、最も重要視しているポイントは、PC版との親和性、連動性です。インターフェイスや言葉使いの共通化を図るなど、普段パソコンを使っている利用者の利便性も考え、開発を行っています。とはいえ、もとよりパソコンと携帯電話ではその機能や容量において明らかに大きな差があり、限られた機能や容量のなかでそれを実現するのは容易なことではありません。例えば、その意味



で最も苦労したのがモバイル版「Yahoo!オークション」の開発で、「PCと同等の機能性」と「簡単な操作性」をいかにうまく両立させるかが、最大の課題でした。

現在、Yahoo! JAPANの利用状況を見ると、PC版では20～40歳代の男性の比率が目立つのに対し、モバイル版では20～30歳代の女性の比率が顕著です。これは、「Yahoo!モバイル」が新たな層に受け入れられ、支持されている何よりの証しであると思われます。

### 活動は第2ステージへ。全社を挙げてのモバイル化対応。

モバイルチームでは、開発の土台となる技術的プラットフォームが整ってきた2年ほど前から、より便利に使っていただくために活動の幅を広げ、Yahoo! JAPANの開発・



提供するすべてのサービスを可能な限りモバイル化していくとともに、新サービス開発の際には最初からモバイル化を念頭において取り組むよう、全事業部に働きかけてきました。「先にサービス有りき」「先に利用者のニーズ有りき」という観点に立つとき、これは当然の取り組みであり、「ユビキタスにサービスを考える」Yahoo! JAPANの重要な使命といえます。

この取り組みにより、モバイル版サービスとPC版サービスの相乗効果がより高まりさらなる飛躍を遂げられるものと確信しています。

### 利用者にとって真に価値あるサービスの開発を目指して!

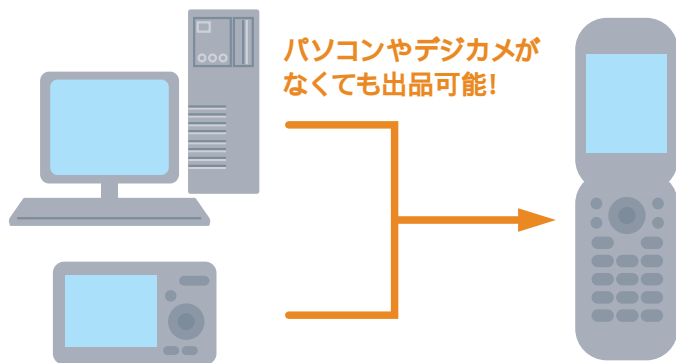
モバイルチームではさらに、今後の長期戦略のひとつとして「コンテンツポータビリティ」の実現に取り組んでいます。これは、Yahoo! JAPAN IDさえあれば、利用者が携帯電話のキャリアを乗り換えても、新しい手続きを経ることなく、そのまま従来と同じサービスを継続して利用できるというもので、その第1弾として2004年12月、「Disney Collection on Yahoo!モバイル」サービスを開始しました。今後も、携帯電話の特性を活かした地域情報の拡充を図るなど、利用者の利便性をより一層高め、生活に密着したサービスの開発・提供に全力で取り組んでいきたいと思っております。

# 使ってみよう Yahoo!モバイル

携帯電話からYahoo! JAPANへアクセスできるサービスが「Yahoo!モバイル」です。「Yahoo!モバイル」では、最新ニュースやプロ野球速報、株価検索や天気予報など、さまざまなYahoo! JAPANのサービスを利用することができます。Yahoo! JAPANでは、今後も各種サービスをさらに便利なものにしていき、顧客満足度を高めることで、より一層の収益拡大を目指していきます。

## モバイル版「Yahoo!オークション」

- 「Yahoo!オークション」への入札はもちろん、出品から落札までを携帯電話のみでできることをご存知ですか？
- パソコンやデジタルカメラを使用しないでカメラ付き携帯電話のみで、より気楽に便利にオークションを楽しむことができます。



「Yahoo!モバイル」はこちらからご覧いただけます。  
……➔ <http://yahoo.jp>

## Step1 …… 出品物を撮影する

カメラ付き携帯電話で出品物を撮影します。



## Step2 …… 商品を出品する

出品は、ガイドに従って進むだけなので、とってもかんたんです。



## Step3 …… 落札結果を見る

みごと落札されました。落札結果も携帯電話で確認できます。



## Q&amp;A

前回、株主通信VOL.9にてお願いいたしましたアンケートでは、多数のご質問、ご意見をお寄せいただき誠にありがとうございました。

なかでも数多く寄せられたご質問について回答を申し上げます。

### Q1.利益配当に対する会社の方針は？

当社は株主の皆様への利益還元の基本方針として、企業体質強化および将来の事業展開のための内部留保を中心に据えながら、每期確実な利益を生み出すように努め、その業績に応じた弾力的な利益配当も同時に実施していくことにいたします。

平成17年3月期(第10期)の利益配当金のご案内につきましては、UFJ信託銀行より別途郵送している配当金のお支払いに関するご通知をご覧ください。

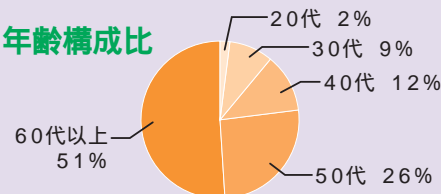
### Q2.今後も株式分割を継続的に行うのか？

当社は、1997年11月に株式を公開して以来、1株を2株に分割する株式分割を合計11回実施しています。株式分割による投資単位の引き下げについては、当社株式の流動性を高め、より多くの投資家の皆様に当社株式を保有していただくための有効な施策であると考えておりますが、今後の株式分割の実施については業績の推移やマーケットの状況等を総合的に勘案し、検討してまいりたいと考えております。

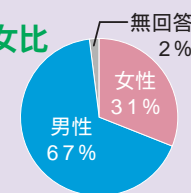
## 株主通信VOL.9アンケート結果のご報告

### 株主属性について

#### 年齢構成比



#### 男女比



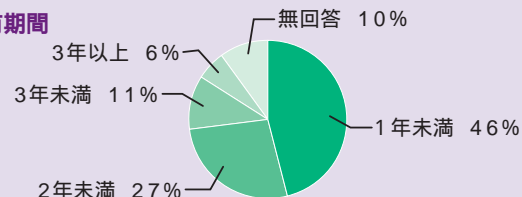
### 「興味を持った記事」・ベスト5

1. 株式情報
2. 株主の皆様へ
3. 財務諸表
4. 事業部別概況
5. CSRへの積極的な取り組み

### 「ヤフー株購入時重視項目」・ベスト5

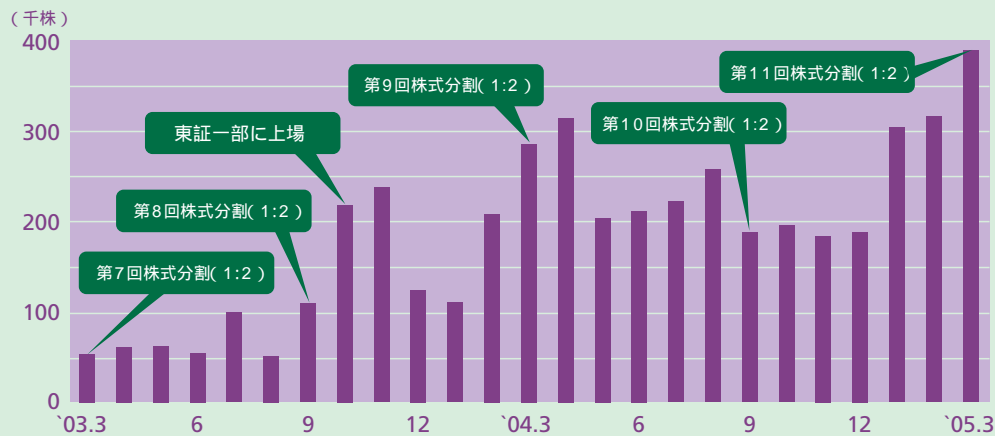
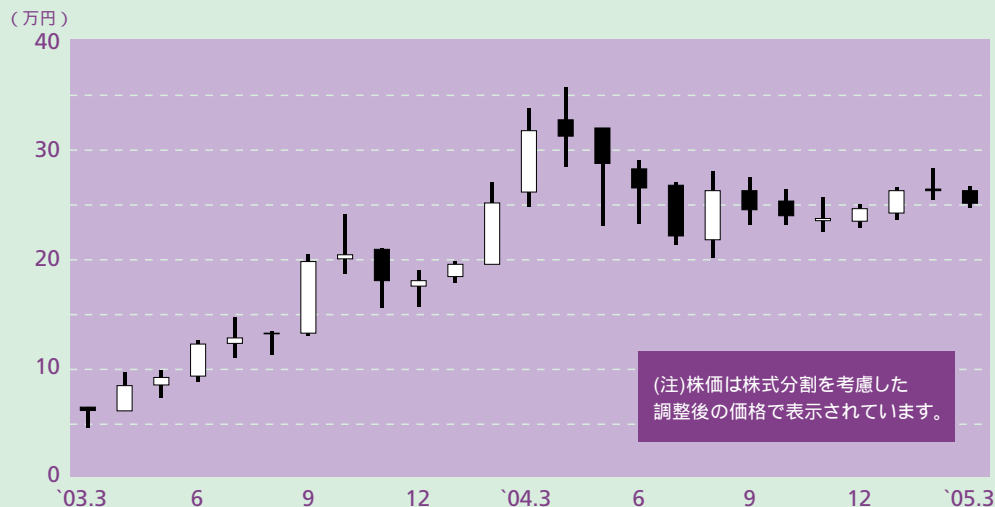
1. 成長性
2. 株式分割
3. 長期的値上り
4. 収益性
5. 業界シェア

### 株式保有期間



# 株式情報 (2005年3月31日現在)

## 株価チャート(月足)・出来高



## 発行済株式の総数

**7,550,123株**

2005年3月31日割当てで1:2の株式分割を実施したため、5月20日に7,550,123株増加しています。

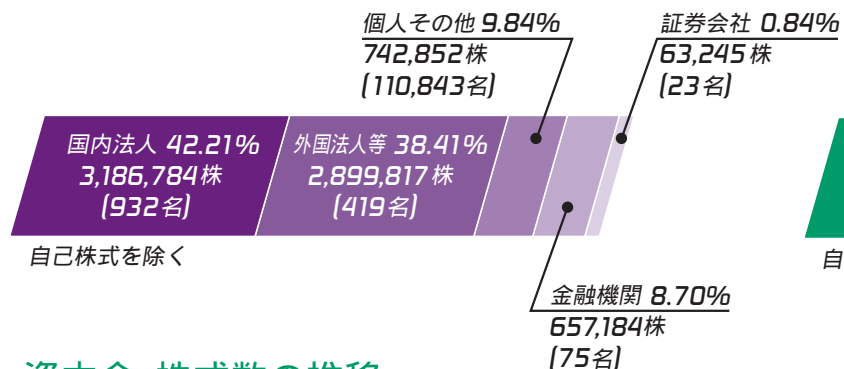
## 株主数

**112,293名**

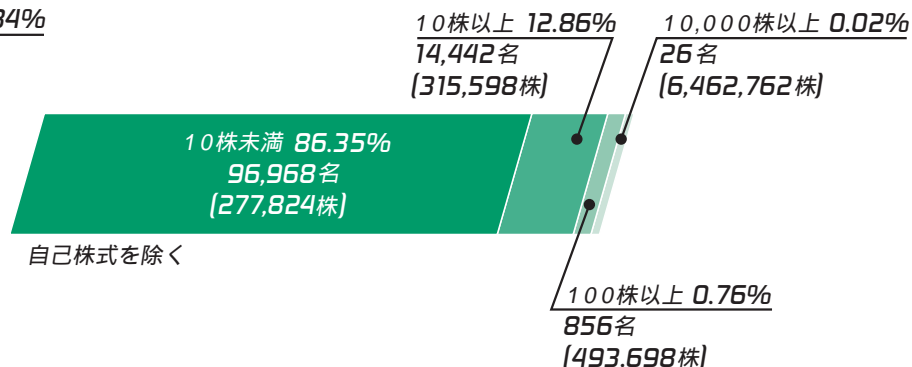
## 主要株主一覧

株主名	持株数(株)	持株比率
ソフトバンク株式会社	3,161,728	41.9%
ヤフーインク	2,524,928	33.4%
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	186,873	2.5%
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	164,876	2.2%
資産管理サービス信託銀行 株式会社(信託B口)	38,771	0.5%
UFJ信託銀行株式会社 (信託勘定A口)	33,711	0.4%
みずほ信託銀行株式会社 (信託Z口)	28,723	0.4%
三菱信託銀行株式会社 (信託口)	28,047	0.4%
ザチースマンハッタン バンク385036	26,058	0.3%
日興シティグループ証券 株式会社	23,805	0.3%

## 所有者別分布状況



## 所有株数別分布状況



## 資本金・株式数の推移

年月	資本金(百万円)	資本剰余金(百万円)	発行済株式数(株)	摘要	
1996年 1月	200	0	4,000	会社設立	
1997年 9月	290	0	5,800	有償株主割当(1:0.45)	
1997年 11月	434	500	6,775	公開時公募	
1999年 3月	1,442	1,507	6,900	公募	
1999年 5月	1,471	1,538	13,822	第1回株式分割(1:2)	割当基準日1999年3月31日
1999年 11月	1,501	1,556	27,826	第2回株式分割(1:2)	割当基準日1999年9月30日
2000年 3月	1,556	5,137	28,954	ジオシティーズ(株) \ プロードキャスト・コム(株) 合併	
2000年 5月	2,897	3,798	57,940	第3回株式分割(1:2)	割当基準日2000年3月31日
2000年 9月	2,959	3,913	58,167	ピー・アイ・エム(株) 合併	
2000年 11月	5,964	1,067	116,917	第4回株式分割(1:2)	割当基準日2000年9月30日
2002年 5月	6,072	1,154	235,095	第5回株式分割(1:2)	割当基準日2002年3月31日
2002年 11月	6,073	1,154	471,059	第6回株式分割(1:2)	割当基準日2002年9月30日
2003年 5月	6,073	1,154	942,118	第7回株式分割(1:2)	割当基準日2003年3月31日
2003年 11月	6,217	1,298	1,884,964	第8回株式分割(1:2)	割当基準日2003年9月30日
2004年 5月	6,429	1,510	3,772,372	第9回株式分割(1:2)	割当基準日2004年3月31日
2004年 11月	6,523	1,604	7,546,778	第10回株式分割(1:2)	割当基準日2004年9月30日
2005年 5月			7,550,123	第11回株式分割(1:2)	割当基準日2005年3月31日

(注) ストックオプション等の行使による変動については、少額であるため表示しておりません。

# 会社沿革・会社概要

1996年 1月	インターネット上の情報検索サービスの提供を行うことを目的として、ヤフー株式会社設立
1996年 4月	日本語での情報検索サービス(サービス名: Yahoo! JAPAN)の提供を開始
1997年 11月	店頭登録銘柄として株式を公開
1999年 9月	オンライン・ショッピングサービス「Yahoo!ショッピング」および、オンライン・オークションサービス「Yahoo!オークション」を開始
2001年 5月	「Yahoo!オークション」の本人確認(有料化)開始
2001年 9月	ブロードバンド関連の総合サービス「Yahoo! BB」の商用サービス開始
2001年 12月	イー・ショッピング・ボックス(株)(現セブンアンドワイ(株))を子会社化
2002年 3月	「Yahoo!ウォレット」を開始
2002年 4月	「Yahoo!オークション」のシステム利用料導入開始
2002年 4月	ブロードバンド電話サービス「BBフォン」の商用サービス開始
2002年 10月	月間100億ページビュー突破
2002年 11月	スポンサーサイトの掲載を開始
2003年 1月	国内初の個人間支払いサービス「Yahoo!ペイメント」(現「Yahoo!かんたん決済」)を開始
2003年 4月	本社を六本木ヒルズへ移転
2003年 4月	オリジナルキャラクターを作成できる「Yahoo!アバター」を公開
2003年 10月	東京証券取引所 市場第一部へ上場
2003年 12月	動画コンテンツの総合サービス「Yahoo!動画」を公開
2004年 2月	(株)リクルートと合併で(株)インディバルを設立
2004年 3月	パソコンで検索、試聴できる「Yahoo!着メロ」を公開
2004年 3月	月間200億ページビュー突破
2004年 3月	「Yahoo! BB」加入者が400万人を突破
2004年 4月	求人情報サイト「Yahoo!リクナビ」を公開
2004年 5月	(財)日本オリンピック委員会、日本パラリンピック委員会および「2005年スペシャルオリンピックス冬季世界大会」のオフィシャルパートナーを務めることを決定
2004年 7月	東京都主税局とともに全国で初めての「インターネット公売」を実施
2004年 7月	「Yahoo!クーポン」を公開
2004年 8月	短期単発アルバイト専門の求人求職マッチングサービス「ショッワークス」をスタート

2004年 8月	情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)の認証を取得
2004年 9月	「Yahoo!ポイント」サービスを開始
2004年 9月	オンラインチケット販売サービス「Yahoo!チケット」を公開
2004年 10月	1日当たりのアクセス数が10億ページビュー突破
2004年 10月	「Yahoo! BB 光」を開始
2004年 11月	ファーストサーバ(株)を子会社化
2005年 1月	(株)アルプス社の事業を継承
2005年 1月	「Yahoo!保険」を開始
2005年 1月	「Yahoo!翻訳」を開始
2005年 2月	有料ダウンロード型音楽配信サービス「Yahoo!ミュージックダウンロード」をスタート
2005年 2月	福岡ドームのネーミング・ライツを取得
2005年 3月	「Yahoo!縁結び」を公開
2005年 3月	Yahoo!プレミアム会員ID数が500万IDを突破

## (2005年3月31日現在)

商 号	ヤフー株式会社
証 券 コード	4689
ホームページ	www.yahoo.co.jp
本 社 所 在 地	〒106-6182 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー
設 立	1996年1月31日
資 本 金	6,692百万円
事 業 内 容	インターネット上の広告事業 ブロードバンド関連事業 オークション事業等
従 業 員 数	1,316名

## (2005年6月17日現在)

役 員	代表取締役社長	井上 雅博
	取締役会長	孫 正義
	取締役	ジェリー・ヤン
	取締役	梶川 朗
	取締役	喜多埜 裕明
	常勤監査役	須江 澄夫
	監査役	桐淵 利博
	監査役	佐野 光生
	監査役	金野 志保

# 株主メモ

決算期	: 毎年3月31日
定時株主総会	: 毎年6月
配当金支払株主確定日	
利益配当金	: 毎年3月31日
中間配当金	: 毎年9月30日
名義書換代理人	: UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱所	: UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
同取次所	: UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店
公告掲載新聞	: 日本経済新聞

(注) 当社は2003年3月期より決算公告に代えて、貸借対照表ならびに損益計算書を当社のホームページ (<http://ir.yahoo.co.jp/jp/koukoku/>) に掲載しております。

## 「株主総会招集ご通知」の電子メールによる受信のご案内

当社では、株主総会当日ご出席いただけない株主様に、従来の郵送による議決権の行使に加えてインターネットでも議決権行使が行える制度を採用しております。また、事前にご承諾いただいた株主様は「株主総会招集ご通知」を電子メールにて受信することができますので、ご希望の方はお手続き下さいますようお願いいたします。

### お手続きの概要

UFJ信託銀行のインターネット議決権行使サイト (<http://www.evote.jp/>) にアクセスしていただき、「お届出コード」の発行をお申し込みになった後、発行されたお届出コードをご利用になり「各種お届出」の画面で招集通知の電子受信ご承諾の手続きをお取りください。

### 上記お手続きに関するお問い合わせ先

UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 (ヘルプデスク)  
電話によるお問い合わせ ☎0120-173-027 (通話料無料)  
受付時間9:00 ~ 21:00

## IRサイトのご案内

当社では、Web上で「IR関連情報」として以下のような情報を公開しています。今後も、株主の皆様への情報開示の内容を充実し、迅速に開示を行っていく所存です。

### Web上でご覧いただけるIR関連情報

- トップメッセージ
- 企業情報
- 財務情報
- 株主情報
- IRイベントスケジュール
- アナリスト・カバレッジ一覧
- 最新プレゼンテーション資料
- 月次開示情報
- よくあるご質問 (FAQ)



<http://www.yahoo.co.jp/>

当社のIR関連情報は、Yahoo! JAPANトップページの一番下にある「投資家情報」からご覧いただけます。

## ご住所変更等のお手続きはお済みでしょうか？

株式の事務手続き(届出住所・印鑑・姓名等の変更届、端株買取請求書、名義書換請求書等)書類のご請求につきましては、名義書換代理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間受付しておりますので、ご利用ください。

UFJ信託銀行株式会社

☎0120-232-711 (オペレータ対応)

☎0120-244-479 (音声自動応答 用紙のご請求用)

インターネットアドレス<http://www.ufjtrustbank.co.jp/>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。



〒106-6182 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー  
電話 03-6440-6170 電子メール [ir@mail.yahoo.co.jp](mailto:ir@mail.yahoo.co.jp)